

研究発表会のお知らせ

裏磐梯ビジターセンターでは毎年冬に、磐梯朝日国立公園やその周辺で研究を行った大学生や高校生、一般団体の研究や活動成果を発表する「研究発表会」を行っています。

地域を探求する研究者たちと交流できるチャンスです。是非お越しください！

日時：令和7年3月9日（日） 10:00～16:30

場所：休暇村裏磐梯 天文台ホール

聴講者：定員 30名

発表者：4題から8題（8題を超える場合、ポスター発表の開催を検討）

参加費：無料



参加
無料

スノーシューイベントのお知らせ

スノーシュー初心者を対象に、安全にスノートレッキング・自然体験を行うことを目的とし、自然解説員スタッフ（+国立公園パークボランティア）が1時間程度のレクチャーを行います。

日時：積雪期の金・土・その他指定日（HPをご覧ください）

場所：五色沼自然探勝路・レンゲ沼探勝路

申込：ウェブ申込または電話申込 / 当日受付不可（実施週の木曜日 午前12時まで）

参加費：ひとり1,000円（子ども同料金）

備考：荒天中止 1グループ5名まで。同時間2組まで。

安全管理上、未就学児およびペットの参加は不可。

申込はこちら→



裏磐梯ビジターセンター

リニューアルオープンのお知らせ

展示改修のため、長らく休館となっていた裏磐梯ビジターセンターですが、

リニューアルオープンは2025年4月中旬を予定しています。

オープン日には記念のイベントも行う予定です

もう少々お待ちください！

前回の裏磐梯だより（No.126）にて、表紙の紹介文が「小野川湖と金華山・アトラス彗星」となりましたが、正しくは「紫金山・アトラス彗星」でした。お詫びして訂正いたします。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-697

【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/

裏磐梯だより 2025年1月 No.127 【企画・発行】裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会



HP



X



Instagram

裏磐梯だより

No.127

2025年1月



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター

「ウワバミソウ」

大蛇の棲んでいそうな場所に自生しているため、この名前が付けられたとされています。よく、水辺などで見かけますが、大蛇は水辺が好きなのでしょうか？
山菜として「ミズ」という名前で流通したりもします。

裏磐梯図鑑 No.41

裏磐梯のへびたち

自然解説員の巡視日記

2024年の自然情報

ようこそビジターセンターへ

「2024 裏磐梯ビジターセンター講演会」開催！

裏磐梯図鑑 No.41

裏磐梯のへびたち

今年の干支は「巳」!裏磐梯にもいくつかの種が生息するへびの年です。ぬるぬるして気持ち悪い、毒があるなど悪いイメージが多いへびですが、一方で様々な神話に登場する、抜け殻をお財布に入れておくと金運アップなど、良いイメージも多い様子…皆さんのへびに対するイメージはどちらでしょうか?

シマヘビ (*Elaphe quadrivirgata*)
カエルを多く食べるがネズミ、鳥、昆虫、魚となんでも食べる

神様の化身? 悪魔の化身?

へびは、様々な地域の神話に登場し、古来より神秘的な存在とされてきました。例えば「日本書紀」に登場するヤマタノオロチや、キリスト教のアダムとイヴをそそのかすへびなどは、多くの人になじみ深いかと思われます。この二つの例は、どちらもへびを恐ろしいもの・悪いものとみなしていますが、一方で例えばギリシア神話に登場する名医アスクレピオスの杖はへびが巻きついており、この杖は薬学のモチーフとされています。また、日本では白蛇は弁財天の使いとされ、金運・開運をもたらす象徴として信仰の対象となっています。

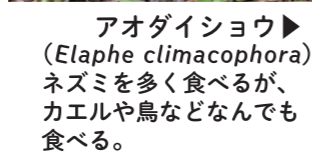
このようにへびは畏怖と信仰、その他様々なイメージとともに、人々に親しまれてきました。

裏磐梯で探せ! 幸運の化身!

へびの仲間は世界中に4000種以上※1が生息していると言われており、そのうち43種※2が日本に生息しています。かなり多いように思えますが、ほとんどが沖縄など南の島に生息しており、裏磐梯を含む本州にはシマヘビ、アオダイショウ、ジムグリ、ヤマカガシ、シロマダラ、タカチホヘビ、ニホンマムシ、ヒバカリ、の8種が生息しています。裏磐梯では、このページにある写真の4種をよく見かけます。



◀ジムグリ (*Euprepophis conspicillatus*)
主にネズミやモグラを食べる。朝や夕方少し涼しい時間帯によく見かける。福島県 RL 準絶滅危惧種



▶アオダイショウ (*Elaphe climacophora*)
ネズミを多く食べるが、カエルや鳥などなんでも食べる。



残りの4種はイラストで紹介しますが、マムシ以外は文献でも裏磐梯にいるという確認はできませんでした。福島県RL2022(ふくしまレッドリスト)で指定されている種も多いですので、見慣れないへびを見かけたら、ぜひビジターセンターに教えてください!

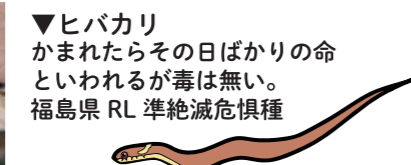
ただし、へびを見かけたときは近づきすぎないように注意が必要です。マムシとヤマカガシは毒を持っていますし、アオダイショウは口の中に食物であるネズミ由来の病原菌がついていることがあります。

へびたちは悪いイメージもありますが、一方で畑の害獣を食べるなど人間社会にも貢献してくれる生き物です。悪魔ではなく、富をもたらす神様としていてもらうためには、まずはへびのことを良く知ることが大事です。

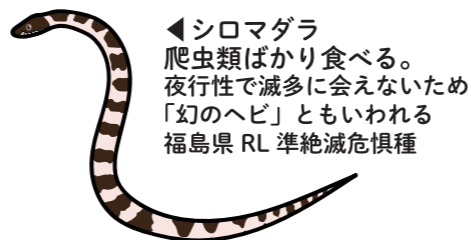
今年の干支「巳年」はそのきっかけになるのではないのでしょうか?



▲ヤマカガシ (*Rhabdophis tigrinus*)
主にカエルを食べる。カエルの多い水辺でよく見かける。福島県 RL 準絶滅危惧種



▼ヒバカリ
かまれたらその日ばかりの命といわれるが毒は無い。福島県 RL 準絶滅危惧種



◀シロマダラ
爬虫類ばかり食べる。夜行性で滅多に会えないため「幻のへび」ともいわれる。福島県 RL 準絶滅危惧種



▲ニホンマムシ
獲物が出す赤外線を感じする器官をもつ。胎生。福島県 RL 準絶滅危惧種



▲タカチホヘビ
ミミズばかり食べる。福島県 RL 情報不足

※1マーク・オシー、へび大全、エムピージェー、2024
※2日本爬虫両棲類学会 (2024) 日本産爬虫両生類 標準和名リスト (2024年3月11日版)

自然解説員の巡視日記

2024年の自然情報

新年あけましておめでとうございます!2025年は裏磐梯ビジターセンターのリニューアルオープンも予定され、心機一転の新しい年となりそうです。干支であるへびが脱皮する様子から、へび年は復活や再生、変化を意味するのだとか…?冬眠期間を終え、リニューアルオープンを控えるビジターセンターにぴったりな干支ですね!

さて、そんな2025年に向けて、裏磐梯の昨年2024年がどんな年だったか、振り返りをしていこうと思います。ことしの裏磐梯は果たしてどんな年になるのでしょうか?とても楽しみです!

最低気温 (-14.3℃) ※	2月10日	
クロサンショウウオの卵塊初確認	4月3日	
裏磐梯の桜	4月17日	～ 5月1日 頃
桜峠ピーク	4月18日	～ 4月24日 頃
エゾハルゼミ初確認	5月10日	
雄国沼のレンゲツツジ	5月24日	頃
磐梯山山開き	5月26日	
ヤナギの綿毛	5月30日	頃
雄国沼のニッコウキスゲ	6月27日	～ 7月5日 頃
チョウ類モニタリング調査体験	7月13日	
大雨により磐梯山の登山道が封鎖	8月7日	
最高気温 (29.7℃) ※	8月23日	
夜の昆虫観察会	8月24日	
子供パークレンジャー	9月28日	
紫金山・アトラス彗星	10月14日	～ 10月19日 頃
紅葉見頃	10月26日	～ 11月17日 頃
紅葉ピーク	11月1日	～ 11月3日 頃
初雪	11月19日	

※気象庁 アメダスより松原地区

昨シーズンの冬は暖冬で、雪も少なく、松原湖も結氷しませんでした。2月中旬にもかかわらず、最高気温が10℃を超える日もあり、このまま春が来るんじゃないかと不安になったのを覚えています。

お花は雄国沼のニッコウキスゲがあまり咲かず、いわゆるハズレ年となりました。代わりにヒオウギアヤメやサワランなどが多い年で、訪れる人を楽しませてくれました。

雄国沼以外ではオオツリバナのお花とアキグミの実が鈴なりになり、五色沼周辺で目立ちました。

秋頃は残暑が続き、紅葉はいまいち色づかず、雪が降る直前までだらだらとちよつとつ紅葉していました。

振り返ると2024年は温暖化の影響を色濃く感じる一年でした。2025年はいつも通りの裏磐梯だと嬉しいです。



◀アキグミ
今年は実の量が多く、良く目立ちました。

Welcome

ようこそビジターセンターへ

「2024裏磐梯ビジターセンター講演会」開催!

昨年度から巡回で講演会を実施しており、今年度は磐梯町(磐梯町中央公民館)にて開催しました。当日は45名の方々にご参加いただきました。

講演では喜多方市の自然科学的な歴史と磐梯町の文化的な歴史をたどる2つのテーマをとりあげ、「会津地域の宝」や「磐梯朝日国立公園の魅力」を再発見する貴重な機会となりました。



こんにちは！磐梯朝日国立公園（磐梯・吾妻・猪苗代地域）の管理等を行っている環境省裏磐梯自然保護官事務所です。本紙では、当事務所が行っている取組や知っていただきたい国立公園の情報をお届けします。

満喫ウェブサイト &パンフレット ができました！

磐梯吾妻・猪苗代地域の価値と魅力を一つの地域として情報発信するツールを作成しました！季節毎の魅力やトレッキングの難易度など、旅に役立つ情報がぎっしり詰まっています。ぜひご覧ください。

取組み

1 満喫プロジェクト

関係行政機関・団体などと協働で国立公園のブランド力を強化するプロジェクトが2021年に始動！5カ年計画となるステップアッププログラムを策定し、自然資源の磨き上げなどに取り組んでいます。



周辺道の駅、観光協会にて配布中！

ウェブサイトはこちら
<https://bandaiazuma-inawashiro.com/>

BEFORE



湖はいずこ…??

AFTER



湖が見えすぎて
ま、眩しすぎる…！



景観改善モデル事業として生い茂った草木の伐採を行いました。小野川湖や松原湖などの景色を楽しめるようになり、パラダイスが復活！今年の紅葉時期は多くの人で賑わいました。現在レイクラインは冬期閉鎖となっていますので、まだの方は来春是非見に来て下さい。

VIEW
SPOT

復活

三湖パラダイス

※森林管理署や県と調整し周囲の植生に配慮して伐採を実施しています。

官民連携の登山道保全活動 が始まっています！



▲ 西吾妻山



▲ 安達太良山

登山道の適切かつ持続可能な整備・維持管理をどのようなかたちで行っていくか、各山域を有する自治体や山岳関係団体等とともに検討してきました。その中で、国立公園内の山岳地域をモデル地区として、現地勉強会の開催や試験的な保全作業の実施が進められています。作業には、これまで常日頃保全活動を行ってきた山岳団体の皆さんに加え、行政担当者や各山岳地を愛する一般ボランティアの方に参加いただいた活動もあり、皆で連携して取り組む機運が高まっています！



▲ 磐梯山

R6実施場所

9/23(月祝) 西吾妻山(西大巔～西吾妻山)
9/24(火) 磐梯山(八方台登山口付近)
9/2(月)3(火),10/12(土)
安達太良山(勢至平～峰の辻間)

作業内容

麻シートでの土留め・植生保護／横断溝設置／浮石除去・石組み／土囊設置 etc
※場所に応じて実施しています。



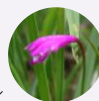
取り組み

2

雄国沼の絶景がピンチ！ ニホンジカ対策

雄国沼湿原の現状

サワラン



トキソウ



湿原性の植物が多く見られ、国の天然記念物にも指定されている雄国沼湿原では、近年ニホンジカの目撃情報が多く寄せられています。令和5年に環境省で行った調査では、センサーカメラ複数のニホンジカの姿が確認され、湿原植生の衰退やニッコウキスゲ群落への影響が懸念されています。

環境省の取組

今年度は、地域内関係者間の情報共有や、各種生息状況等の調査を実施しました。引き続き影響等を調査し、地域で対策を考えていきます。

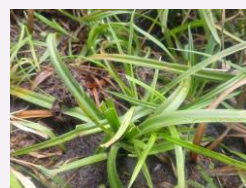
- ・地域内の情報共有の場を設置
- ・食害状況調査&センサーカメラによる生息状況調査
- ・雄国沼湿原内の植生調査
- ・雄国沼休憩舎にシカ目撃情報ボード設置

地域の取組

- ・ラットコール(発情期のオスの鳴き声)による生息状況調査/裏磐梯エコツーリズム協会



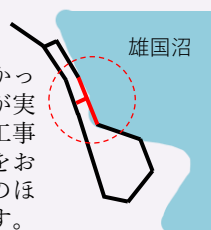
▲センサーカメラ写真(R5撮影)



▲食害の跡

お知らせ

雄国沼の水位が下がらなかったため、木道工事の一部が実施できず、次年度も一部工事を行う予定です。ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。



RANGER OFFICE INFORMATION

裏磐梯ビジターセンター オープンまでもう少しお待ちください

裏磐梯ビジターセンターは昨年から大規模な改修工事を行っております。天井を剥がしたところ、構造的な不具合が確認され、追加工事が必要になっており、皆さまにはご迷惑をおかけしております。年明けには展示物の取付など大詰めを迎える予定です。



▲屋根など外観は完了



▲現在の中の様子

国立公園内だけど、木を切ってもいいのかな？

近所の湖畔が濁って汚くなっている…

国立公園内でお困りごと・気づいたことがあったら、お気軽にご相談ください

5人体制でお待ちしています！



自然や生きものたちの生活のひとコマを覗き込むような空間となる予定ですので、楽しみにお待ちください！



WMAJガイド研修受講者募集

自然ガイド向けに、目の前で発生した事故や災害による傷病者への評価・ケアを学ぶことができる研修を開催いたします。WFA・WAFIA国際資格を取得できるコースとなっておりますので、ぜひご参加ください。



▲R5年度ガイド研修の様子

※研修の詳細やお申し込み方法はこちら

<https://bandaiazuma-inawashiro.com/news/info/1997/>



環境省裏磐梯自然保護官事務所

〒969-2701福島県耶麻郡北塩原村大字檜原字剣ヶ峰1093

☎RO-URABANDAI@env.go.jp ☎0241-32-2221